

## 段セパⅡの施工ポイント

段セパⅡは従来の段セパと強度は同等ですが、形状の違いによって以下の注意が必要です。

① 鉄筋受けがないので、サイコロが必要【写真①】

《段セパ設置後に鉄筋を組む場合》

② スラブ筋と干渉しないように、スラブピッチに合わせた配置を行う。 【写真②】

スラブピッチ	@100	@150	@200	@250	@300
段セパ	400	450	400		
設置ピッチ	500			500	
	600	600	600		600

《段セパを先に設置することが困難なところ(コーナー部等の補強筋が多く、鉄筋が入り組んでいるところ。))

A または B の施工を検討する。

A. 鉄筋を組み終わった後に、段セパⅡを設置する。【写真③】

B. 2度打ちのように、ハーフ吊巾止金具を600mmピッチ以内で設置する。段セパⅡは釘打ちをしないで設置し、外周型枠を組む。鉄筋が干渉する場合は段セパⅡを動かすことができる。段セパⅡは釘打ち無しで施工できる。



【写真④】

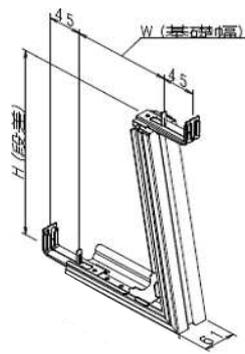
【写真②】

鉄筋と干渉しないように、ピッチを決めて配置していく



【写真③】

段セパを後入れにする



ハーフ吊巾止金具を設置して、段セパはフリーの状態にしておく



ハーフ吊巾止金具は600mmピッチ以内で釘固定する

段セパⅡは釘打ちしない。  
外周型枠を組んでも動かないようにする。  
釘打ちしないまま打設しても問題無し